

製品名: 嗅覚受容体 8G1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15325**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	OR8G1
別名	OR8G1; OR8G1P; Olfactory receptor 8G1; Olfactory receptor OR11-281; Olfactory receptor TPCR25
遺伝子 ID	26494.0
SwissProt ID	Q15617
免疫原	抗血清はヒト OR8G1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 262-311

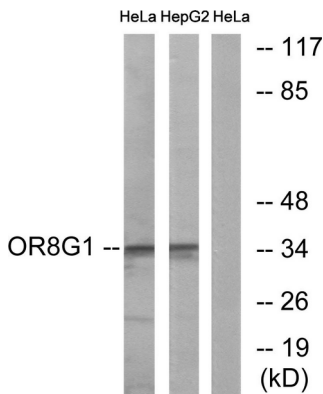
背景

嗅覚受容体は鼻腔内の嗅覚分子と相互作用し、嗅覚の知覚を引き起こす神経反応を引き起こします。嗅覚受容体タンパク質は、単一

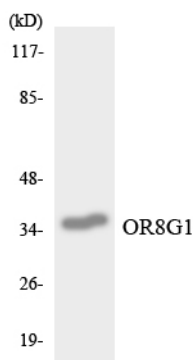
のコーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーに属します。嗅覚受容体は、多くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と 7 つの膜貫通ドメイン構造を共有し、嗅覚シグナルの認識と G タンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大のファミリーです。この生物の嗅覚受容体遺伝子およびタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。このファミリーのメンバーは多型性擬似遺伝子を表し、一部の個体は完全長タンパク質をコードする機能的対立遺伝子を持ち、他の個体は機能:嗅覚受容体のため機能しない対立遺伝子を持ちます。、多型:このタンパク質をコードする遺伝子の Tyr-259 の位置にある終止コドンが機能的多様性の原因となり、擬似遺伝子が生成されます。、類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。、

研究分野

画像データ



OR8G1 抗体を用いた HeLa 細胞および HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



OR8G1 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。